



Cisco ISE-PIC のインストールとアップグレードの概要

このガイドでは、以下の方法について説明します。

- Cisco ISE-PIC リリースのいずれかを初めてインストールして設定する「[Cisco ISE-PIC のインストール](#)」を参照してください。
- 以前のリリースから新しいリリースにアップグレードする「[Cisco ISE-PIC のアップグレード](#)」を参照してください。

この章の残りの部分では、ISE-PIC の用語とインフラストラクチャの概要について説明します。ISE-PIC の設定と使用に関する追加情報と詳細については、『*Identity Services Engine Passive Identity Connector (ISE-PIC) Administrator Guide*』を参照してください。

- [Cisco ISE-PIC の用語](#) (1 ページ)
- [Cisco ISE-PIC のアーキテクチャ、展開、およびノード](#) (3 ページ)
- [前提条件および仮想アプライアンスの要件](#) (3 ページ)

Cisco ISE-PIC の用語

このガイドでは、Cisco ISE-PIC について説明する際に次の用語を使用します。

用語	定義
GUI	グラフィック ユーザー インターフェイス GUI は、ISE-PIC のソフトウェアインストールのすべての画面とタブを示します。
NIC	ネットワーク インターフェイス カード。
ノード	個別の物理または仮想の Cisco ISE-PIC アプライアンス。

用語	定義
PAN	ISE-PIC 展開のメインノードはプライマリ管理ノード (PAN) であり、使用可能なすべてのアクションを実行できるノードです。ISE-PIC では、最大 2 つのノードをインストールできます。インストールする 2 番目のノードは、セカンダリ管理ノード (セカンダリ PAN) と呼ばれます。
パーサー	syslog メッセージを受信し、その入力を分割して管理、マッピング、および ISE-PIC にパブリッシュできる ISE-PIC のバックエンドコンポーネント。パーサーは、到着する syslog メッセージの各行の情報を調べて、重要な情報を探します。たとえば、「mac=」を検索するようにパーサーが設定されている場合、パーサーはそのフレーズを検索しながら各行を解析します。パーサーは、設定された主要なフレーズを検出すると、定義された情報を ISE に送信するように設定されています。
プライマリ ノード	ISE-PIC 展開のメインノードはプライマリ管理ノード (PAN) であり、使用可能なすべてのアクションを実行できるノードです。ISE-PIC では、最大 2 つのノードをインストールできます。インストールする 2 番目のノードは、セカンダリ管理ノード (セカンダリ PAN) と呼ばれます。
プローブ	プローブは特定の送信元からデータを収集するメカニズムです。プローブは任意のメカニズムを説明する一般的な用語ですが、データの収集方法や収集対象を具体的に説明するものではありません。たとえば、Active Directory (AD) のプローブは ISE-PIC が AD からデータを収集するのに役立ちますが、syslog のプローブは syslog メッセージを読み取るパーサーからデータを収集します。
プロバイダー	ISE-PIC がユーザーアイデンティティ情報を受信し、マッピングし、公開するクライアントまたは送信元です。
セカンダリ ノード	ISE-PIC 展開のメインノードはプライマリ管理ノード (PAN) であり、使用可能なすべてのアクションを実行できるノードです。ISE-PIC では、最大 2 つのノードをインストールできます。インストールする 2 番目のノードは、セカンダリ管理ノード (セカンダリ PAN) と呼ばれます。
サブスクリイバ	ユーザーアイデンティティ情報を受信するために ISE-PIC サービスをサブスクリイブするシステム。

Cisco ISE-PIC のアーキテクチャ、展開、およびノード

Cisco ISE-PIC アーキテクチャには、次のコンポーネントが含まれます。

- ノード : Cisco ISE-PIC では、次に示すように、最大 2 つのノードを設定できます。
- ネットワーク リソース
- エンドポイント

展開内の Cisco ISE-PIC ノードが 1 つの場合は「スタンドアロン展開」と呼ばれます。

Cisco ISE-PIC ノードを 2 つ含む展開は「ハイアベイラビリティ展開」と呼ばれ、1 つのノードがプライマリプライアンス（プライマリ管理ノード、または PAN）として機能します。ハイアベイラビリティ展開により、サービスの可用性が向上します。

PAN は、このネットワーク モデルに必要なすべての設定を提供し、セカンダリ Cisco ISE ノード（セカンダリ PAN）はバックアップロールで機能します。セカンダリノードはプライマリノードをサポートし、プライマリノードとの接続が失われるたびに機能を再開します。

Cisco ISE-PIC は、セカンダリノードがプライマリノードの状態と一致するように（したがって、バックアップとして使用できるように）、プライマリ Cisco ISE-PIC ノードが存在するコンテンツのすべてをセカンダリ ISE-PIC ノードと同期するか、複製します。

ISE Community Resource

展開とスケールリングの詳細については、「[ISE Deployment Journey](#)」を参照してください。



- (注) Cisco ISE リリース 3.1 以降、すべての pxGrid 接続は pxGrid 2.0 に基づいている必要があります。pxGrid 1.0 ベース（XMPP ベース）の統合は、リリース 3.1 以降、Cisco ISE で機能しなくなります。

WebSocket に基づく pxGrid バージョン 2.0 は、Cisco ISE リリース 2.4 で導入されました。統合の中断を防ぐために、他のシステムを計画して pxGrid 2.0 準拠バージョンにアップグレードすることをお勧めします。

前提条件および仮想プライアンスの要件

ISE-PIC は仮想マシンのみサポートしています。仮想マシンは、Cisco SNS 3500 または 3600 シリーズ アプライアンスの仕様に基づいている必要があります。

SNS-3500 シリーズ アプライアンスについては、『[Cisco SNS-3500 Series Appliance Hardware Installation Guide](#)』を参照してください。

SNS-3600 シリーズ アプライアンスについては、『[Cisco SNS-3600 Series Appliance Hardware Installation Guide](#)』を参照してください。

Cisco ISE-PIC をインストールするための追加の前提条件とシステム要件について、次の表で概要を示します。

表 1: 仮想アプライアンスの要件および前提条件

タイプ	説明
仮想アプライアンス	<p>Cisco ISE-PIC ノードの仮想マシンの要件、前提条件、および関連する手順は、通常の Cisco ISE ノードと同じです。</p> <p>Cisco ISE-PIC は、Cisco ISE と同様、小規模、中規模、および大規模の導入モデルをサポートします。最適なパフォーマンスを達成するため、ISO イメージを使用して Cisco ISE-PIC を手動でインストールする場合、必ず同等のリソース予約を割り当てるようにしてください。</p> <p>Cisco ISE-PIC は、次の仮想プラットフォームにインストールできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VMware 仮想マシン • Linux KVM • Microsoft Hyper-V • Nutanix AHV <p>仮想マシンの要件に関する詳細情報については、『Cisco Identity Services Engine Installation Guide』を参照してください。</p> <p>ISE または ISE-PIC を適切にインストールするには、『Cisco Identity Services Engine Installation Guide』に記載された、前提となる設定とセットアップに従うことが重要です。</p>
ソフトウェア (Software)	<p>特別なオペレーティングシステムやソフトウェアの要件はありません。ISE-PIC の ISO イメージには、必要なすべてのソフトウェア項目が含まれています。</p>

ISE Community Resource

展開とスケールリングの詳細については、「[ISE Deployment Journey](#)」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。